

## 社会科（地理的分野） 学習指導案（国際理解）

日 時 令和4年11月15日

場 所 帯広市立緑園中学校

生 徒 2年1組 44名

指導者 教諭 長 内 直 樹

### 1 単元名 第3章 日本の諸地域 第5節 関東地方

### 2 単元について

本単元は学習指導要領 地理的分野 内容（C）日本の様々な地域（3）日本の諸地域 ④交通や通信を中核とした考察の仕方である。ここでは「幾つかに区分した日本それぞれの地域について、その地域の特徴や地域の課題を理解すること、交通や通信を中核とした事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること」を主なねらいとしている。

関東地方に関する特色ある事象を中核として、産業や人口、都市などと深い関係をもっていることや、地域間の結び付きの整備が地域の課題となることなどについて考察する。」ことにより地域的特色を捉えさせる。

これらを踏まえて、関東地方は日本国内の交通や通信の結び付きに留まらず、世界の各地域と、政治・経済・文化の上で結ばれていることで発展してきた。その一端として外国人労働者が多くいる状況から世界との結び付きを考察することができる。

### 3 国際理解BASIC

- BASIC-1（地理的項目－知識・理解）  
他国の現状を知り、日本との比較をする
- BASIC-2（文化・言語的項目－体験・経験）  
他国の現状から、自分の立場に置き換えて考える。
- BASIC-3（情報発信・行動的項目－表現・意識）  
他国の現状を知ること、自分たちが関わり方を考える

### 4 単元の目標

- 「関東地方」は、交通や通信の集中を主題にして、関東地方の地域的特色や地域の課題と交通・通信の関連性を理解し、その知識を身に付ける。（知識・技能）
- 「関東地方」は、交通・通信を中核とした産業や人口などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに、地域の課題の解決の方法について判断する。（思考・判断・表現）
- 「関東地方」に対する関心を高め、自然的・社会的条件が交通・通信に与える影響について考えるとともに、グローバル化への対応について意欲的に追及する。（主体的に学習に取り組む態度）

## 5 国際理解の目標

- 日本とブラジルの共通点、相違点を理解する。【世界に触れる (intake 活動)】
- 日本と他国とが結び付きをもつ意義を考える。【対話・ディスカッション (output 活動)】
- 日本とブラジルでの生活を考え、自分事として考える。【創造力 (outcome 活動)】

## 6 指導計画

学習段階	授業の展開	評価の手立てと観点 □評価 ◆留意点
1 時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地方の地形や気候について調べる。</li> <li>・ 単元を貫く学習課題の予想を立てる。</li> </ul>	□プリント ・ 意欲的に地域的特色を追求している。【主】
2 時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京が政治・経済・文化の中心としての機能について、施設の分布や統計から調べる。</li> <li>・ 大消費地として、陸運や海運によって全国の消費地と結び付くことを理解する。</li> </ul>	□プリント／調べ学習 ・ 東京が三つの中心の役割を果たしている理由を考える。【思】
3 時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京の昼夜人口と夜間人口を比較する。</li> <li>・ 過密の状態を他の都市と比較する。</li> </ul>	□資料読み取り／話し合い ・ 人々の移動による結び付きの特色を、他と比較して考える。【思】
4 時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地方の工業地帯や工業地域の主要な生産品について理解する。</li> <li>・ 北関東工業地域について、外国人労働者と輸送の特色を理解する。&lt;intake 活動&gt;</li> </ul>	□プリント／資料読み取り ・ 工業生産の特色を他地域との結び付きから理解する【知】
5 時間目 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地方における国際化の進展について、交通や通信の視点から理解する。                &lt;output、outcome 活動&gt;</li> </ul>	□プリント／資料読み取り ・ 国際化の進展について、交通や通信の視点から考える。【知】 ◆世界の現状について、自分なりの考えを持てる。

## 7 本時の目標

- 関東地方の国際化の進展を資料から読み取ろう。(知識・技能)
- ブラジルが現状や課題に気付き、日本との関わりの意義について理解する。

## 8 本時の展開

授 業 の 展 開	評価の手立てと観点 □評価 ◆留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習（外国人労働者が多いことを確認）</li> <li>・課題の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワークシート配布</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>関東地方に、外国人労働者が多く集まる理由を考えよう。</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の予想をスプレッドシートに入力</li> </ul> <div data-bbox="188 607 817 752" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>第1ステップ&lt;intake 活動&gt; 日本とブラジルに関する資料を提示し、気づいたことをJamboardに入力し、交流する</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年収、工業や農業の生産額、資源の生産量などの資料を提示。</li> <li>・ブラジルを「主語」にして、日本と比較させる</li> </ul> <div data-bbox="188 943 817 1088" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>第2ステップ&lt;output 活動&gt; 東京を中心とする関東地方に、ブラジル人も含めて外国人が特に多く集まる理由を考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の他の地方との違いについて考える。</li> <li>・「人口が多く仕事が多い」</li> <li>・「交通網が発達している」</li> <li>・「自分の国と行き来しやすい」</li> </ul> <div data-bbox="188 1323 817 1514" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>第3ステップ&lt;outcome 活動&gt; 自分がブラジル人で、『一人暮らし』をしていると想定して、日本とブラジルのどちらで生活したいのか、理由を付けて考える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジルの文化を取り入れている地域があることを確認。（歴史を含めて）</li> <li>・「自分の生まれた国がよい」</li> <li>・「お金をかけてまで行く必要がない」</li> <li>・「日本の方がお金を稼ぐことができる」</li> <li>・「日本の方が安全で生活しやすいと思う」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題のまとめをスプレッドシートに入力</li> <li>・問題を自分で選択し、解答する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□日本との違いを知ることができたか。</li> <li>◆複数の資料から生徒が選択し、組み合わせで考える。</li> <li>◆個人思考 → 交流（Jamboard）</li> <li>◆ブラジルに対するネガティブイメージが高まらないように配慮</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>□他の地方との違いから、外国人労働者が多く集まる理由を考えることができたか。</li> <li>◆個人思考 → 交流（Jamboard）</li> <li>◆「関東地方」を主語にする</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>□立場を置き換えて考えることができたか。</li> <li>◆個人思考 → 交流（Jamboard） 「日本で暮らす」「ブラジルで暮らす」の二択で理由を考えることができたか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>□論理的な文章表現（結論→理由→再結論）で、自分で書くことができたか。</li> <li>□『選択問題』と『記述問題』を用意</li> </ul>